

地域福祉活動助成金

この事業は、赤い羽根共同募金の一部を配分し、市民が企画・参加する地域福祉活動に助成金を交付するもので、高齢者や障がい児・者など、地域で支援を必要とする方々が、安心して暮らせる地域づくりを目的としています。先月号に続き、既実施された各地域の活動の一部をご紹介します。

平成26年8月30日～平成27年1月12日の期間中に、岩沢山谷町内会が秋まつりふれあい事業・神社しめ縄作り伝承事業・鳥追い伝承事業・賽の神伝承事業を実施しました。

世代間交流が十分に図られ、伝承事業は次世代に引き継ぐことができました。町民の相互理解と繋がりを深めることができました。



岩沢山谷町内会 <楽しく世代間交流>

平成26年10月5日～平成27年1月11日の期間中に木津団地町内会が、福引き大会と防災を学ぶ会を実施しました。福引き大会事業を通して交流の場を設けることで、高齢者の引きこもり防止、心身ともに健康になってもらうことを目的としました。また、講演を通して原子力災害に関する学習、実演会を通してAEDの使い方を学習することで町内での緊急時対応を誰でも行えるように備えました。



木津団地町内会 <災害時対応の学習>

善意の募金が地域へ繋がっています

part 3

平成26年11月16日は、滝原会がアルパカと遊び落語を聞く会を実施しました。来場者はアルパカ3頭と楽しく触れ合いました。お昼は会食会を開催して来場者同士で交流を深め、その後は三遊亭楽々さんの振り込め詐欺の被害防止等を落語形式で楽しく、分かりやすく学びました。その他に、一人暮らし高齢者に赤飯を配りました。事業を通して世代間の交流を深め、高齢者の孤独感を和らげたり見守りの目を養うことができました。



滝原会
<子どもたちのお囃子も>

平成26年11月30日は、池ヶ原絆の会が世代間交流事業、友愛訪問活動を実施しました。高齢者と児童と一緒にビンゴゲームを楽しんだり、お話しながら交流を深めました。また、欠席された方へは友愛訪問として児童からお弁当が配布されました。地域で安心して暮らせるような福祉の風土作りができました。



池ヶ原絆の会
<交流会が始まります>

平成26年11月30日は、一之町二区町内会が町民のつどいを実施しました。マジックショーやスカットボール大会、お楽しみ抽選会が行われ、子どもから大人まで楽しみました。また、準備から後片付けまで全員で協力して行うことで、交流を図るとともに絆が深まりました。



一之町二区町内会 <マジックショーの一幕>

平成26年11月20日～30日の期間中に、片貝町福祉会が歳末慰問事業を実施しました。一人暮らし高齢者を対象に、福祉推進委員と民生委員児童委員がペアで訪問しました。福祉推進委員と民生委員児童委員の連携強化と地域の見守りの強化が図られました。



片貝町福祉会 <歳末慰問の準備風景>

第7弾 わが町の福祉会！ 本町福祉会



風間福祉会長

今年で16年目を迎える本町福祉会です。「いきいきサロン」を主体に活動してきました。平成16年の中越大地震、打ちのめされた心に元気を取り戻す福祉会行事、現在の世代間交流行事を毎年、市民の家を会場に開催しています。町内の幼稚園児からお年寄りが集まり、スカットボール大会を開催し、豪華賞品でたいへんな盛り上がりで交流会が行われます。現在、いきいきサロンは年6回開催。中でも楽しみの一つが「ふれあい日帰り温泉の旅」です。入浴後の豪華昼食会、カラオケ、懇談など楽しい一時を過ごしていただいています。また、お薬の話や健康食品、転倒防止など健康にまつわるお話を聞く機会も多く取り入れています。これからは、町内会のあらゆる諸団体と協力し、福祉の原点に立つてこの活動が広がってほしいと願っています。



(いきいきサロンの様子)

※福祉会の活動は「少しの気配り」「少しのお手伝い」という一人ひとりの優しい気持ちが出発点です。地域の住民の参加協力による、手助けや声かけ、見守りといった活動を日常的に行うことによって、安心して暮らすことができる地域社会をつくらうとする住民の活動です。